

令和4年2月24日(木)
会議室 15:30～17:00

第3回学校運営協議会 議事録

1. 校長挨拶

今回の協議会は、この1年間の取組みへの学校の自己評価に対して、学校関係者および外部の評価としてご了解いただくことが大きな目的のひとつである。最後には来年度の学校経営目標の中期的目標までご承認いただきたいと考えている。

2. 委員紹介

大塚耕司委員、高島裕二委員、森田英嗣委員、森本哲弘委員

3. 今年度の本校の取組についての報告

(1) 令和3年度学校経営計画について

- ・授業改善については、学習指導P T主導で公開授業を10回行った。また、授業アンケートの「学習内容に興味・関心を持つことができた」「知識や技能が身についた」や、「ICT機器がよく活用されている」の項目についても評価指標数値を上回り、目標は達成したと考えている。一方で、業務の効率化を検討する会議を年間5回行ったが、教員の時間外勤務時間は12月の時点ですでに目標時間を超過してしまっており、目標を達成できなかった。この件については、詳しく分析し、然るべき対策が必要であると考えている。進路実現に関する取組については、進路HRや進学講習等、すべて目標数値を達成している。
- ・国際・科学高校としての取組みとして、課題研究発表会を1回実施（クラスや学年単位の発表会を含めれば複数回）した。校外の発表会（府立高校国際関係学科10校の発表会）にも参加し、リサーチ賞を受賞した。また、探究サイクルを取り入れた教科の公開授業または事例報告を3回実施しており、これらについては目標数値をクリアしている。さらに、学校教育自己診断の「学習の評価は納得できる」の項目は昨年度の値を大きく上回っている。国際共同研究に関しては、台湾の中山女子高級中学と行っており、本日午前国際科学発表会をオンラインで実施したところである。学校教育自己診断の「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」の項目も昨年とほぼ同等の数値であり、高い水準で維持されている。
- ・世界で信頼される品格および国際感覚、人権感覚の育成については、学校教育自己診断「人権に関して学ぶ機会がある」の数値は高い水準で維持されているが、「担任以外にも相談できる先生がいる」の値は昨年度より低いうえに、目標を下回っている。この件に関しては、分析が必要と考えている。「学校行事には楽しく参加できている」「学校生活についての先生の指導は適切である」についてはどちらも満足度が非常に高く、特に後者については昨年度より大幅に上昇した。

(2) 教務部の取組について

- ・観点別学習状況の評価については、前期における試行の結果、どの教科も「主体・態度」の評価に苦慮しているようである。評価材料や回数が少ないと評価として不適切であるので、これらを増やす方向で各教科に検討してもらおうと考えている。

(3) 国際文化科の取組について

- ・TOEFL授業（Super English）は水曜7限に90分授業を年間で20回実施した。
- ・GTEC4技能（アセスメント版）を1，2年生全員に実施。
- ・TOEIC対策講座（土曜講習）は6月から12月にかけて、90分を時間帯別に2講座開いた。56名が受講。
- ・国際関係学科10校によるインターナショナルフェスティバル及びLETS10校合同発表会が1月30日に開催された。LETS10校合同発表会では、本校1年生がオーラル発表でリサーチ賞を、ポスター発表でグッドポスター賞を獲得した。インターナショナルフェスティバルでは、スピーチの部で2位、暗唱の部で1位を獲得した。
- ・10月から1月まで不定期で第2外国語特別講座を実施した。
- ・今年度の英語合宿は、3月に通所の形態で行う予定である。

(4) 国際部の取組について

- ・1月にJICA関西の研修生が来校し、母国の文化を紹介してもらったり、本校生徒が大阪や住高について紹介したり、交流を深めた。
- ・新型コロナの影響で、留学生受け入れと海外研修はすべて中止したが、オンライン等を利用した代替交流を実施した。ECC外語学院主催のグローバル体験、ラオスの学生とオンライン交流、ニューヨークセントアンズ校の生徒とEmailやLINEの交換、韓国観光公社主催の韓国オンライン修学旅行に参加、大阪大学大学院留学生とのオンライン交流、Super Korean との共催による韓国クムダン高校とのオンライン交流、などである。
- ・時差の大きい国の生徒とはオンライン対面交流ができないこと、またオンライン通信の安定性の確保が難しいことなどが問題点である。
- ・ユネスコスクールの活動については、例年の中国・韓国の小中高生との「国際学び合い交流会」が新型コロナの影響で実施できなかった。校内の活動として、1年生国際文化科の総合的な探究の時間での「SUKIPRO」でSDGs関連の課題研究を、三菱みらい財団の支援を受けて行っている。

(5) 総合科学科の取組について

- ・住高支援ネットワークの活用や、探究活動WEBサイトの一般公開など、外部連携や活動成果の普及については一定の成果が得られた。また、中山女子高級中学とのオンライン共同研究の実施など、活動のオンライン化や英語表現力の向上への取組も行った。
- ・今後の課題としては、SSⅢ選択者を増やしていくことや、個人の興味関心に根ざした課題設

定、大学・企業との連携などが挙げられる。

(6) 進路指導部の取組について

- ・進路実現に向けた、より早い段階での始動が大切であると考えている。早い段階から志望校を決定させ、そこへの道筋を意識しながら学習する体制がとれるよう改善中である。
- ・セルフチェックシート等を活用したこともあり、自宅学習時間が増加している。
- ・例年、共通テスト（センター試験）では、数学の成績が全国平均と同じか下回っている。これが進路実現の1つのキーポイントになっている。特に国際文化科の生徒の中に数学を苦手としている生徒が多く、最後まで諦めない指導をしていく必要がある。
- ・東京大学に1名合格。

(7) 生活指導部の取組について

- ・今年度の遅刻は2356件で、目標の1500未満は達成できなかった。ここ数年は2000を切ることができず、停滞している。特に3年生の遅刻が多く、1人当たり平均4.5回となっている。原因の1つとして、コロナ禍であることが挙げられる。受験を控えた時期であるため、コロナ罹患のリスクを回避するため、そもそも欠席する生徒が増加している。そのため、必ず授業を受けなければならないという心理的ハードルが低くなり、遅刻も増加していると考えている。また、遅刻常習者が固定化されてきており、来年度以降、指導形式の見直しをしていく予定である。
- ・今年度も新型コロナの影響により、交通安全講習会は中止とした。保健体育科の協力により、1年生の授業の中で交通安全教育を行ったが、他学年に対しては実施できていない。来年度は交通安全講習のオンライン化なども検討していきたい。

自治会の取組について

- ・近年、自治会生徒の自主性が失われてきており、教員に言われたことをそのまま実行しているような側面が多少あるように感じている。このことをとても危惧している。そのため、今回の学年行事に関しては、生徒に完全に「丸投げ」の状態で行ってもらった。
- ・新型コロナの影響もあり、クラブ加入率が減少しているため、来年度は新入生歓迎会の後で、クラブ体験ウィーク的なものを設けるなど、クラブ加入率増加に向けた取組をしていきたい。

(8) 保健部の取組について

- ・保健室での相談件数は例年並みであったが、人間関係の悩みを相談する生徒が非常に多かった。新型コロナの影響で、様々な行事が延期・中止・縮小されており、生徒同士の人間関係構築の機会が減少していることが背景にあるのではないかと考えている。
- ・SCによる教育相談件数も多く、今年度は保護者の相談も例年より多かった。HPに掲載したり、相談室だよりをこまめに発行したことによると思われる。
- ・コロナ対策としては、生徒への注意喚起、換気の徹底、トイレ・階段等の毎日の消毒作業を行った。

4. 質疑・協議（● 質問・意見 →回答）

●コロナ禍ではオンライン授業は学校の生命線と考えるが、オンライン環境は現状どのような状態か。

→GIGAスクール構想に基づき回線の強化が行われた。教員1人1台端末の実現に向けても環境整備中である。

●教職員の時間外勤務の状況について、何か具体的な取組をされたのであれば教えてほしい。

→残念ながら、具体的な取組はできていない。むしろ、新たな業務が増えたこともあり、教員全体でこれに取組むことでさらに勤務時間が増えてしまっている。

→大学でも働きすぎは大きな問題になっている。教員には良かれと思うことをとことんやってみようところがある。たしかに健康管理は必要だが、やりがいをもって好きでやっている部分もあるのならば、一概に勤務時間増加を問題視するのはどうかとも思う。

●総合科学科のSSⅢ選択者が少ないことについての対策は何か考えているか。

→3年生はどうしても進学に向けた科目選択を優先するので、課題研究は敬遠しがちになってしまう。そこで、前半は2年生までの課題研究の発展的研究をし、後半は進路にも結び付くような内容にしてはどうかと考えている。

●JICAの研修生はどのような方が来られているのか。

→日本に半年から1年以上住んでいる方々である。

●明日の自治会の学年行事ドッジボールでのコロナ対策はどのようにするのか。

→競技中もマスク着用と、2つのグラウンドでの分散実施。

5. 令和4年度学校経営計画の承認

6. 校長より謝辞

学校運営協議委員の任期は2年となっており、今年度は任期の終了を迎える年である。更新は2回まで可能なので、来年度以降もぜひともお願いしたい。

7. 来年度の予定

第1回 6月23日（木）

第2回 10月27日（木）

第3回 2月24日（金）